

「受ける」より
「与える」方が
幸いである。

"It's Better to Give than to Receive"

使徒言行録 Acts
20:33～35

「人を裁くな。そうすれば、あなたがたも裁かれることがない。人を罪人だと決めるな。そうすれば、あなたがたも罪人だと決められることがない。赦しなさい。そうすれば、あなたがたも赦される。

与えなさい。そうすれば、あなたがたにも与えられる。押し入れ、揺すり入れ、あふれるほどに量をよくして、ふところに入れてもらえる。あなたがたは自分の量る秤で量り返されるからである。」

(ルカ6:37～38)

「自社のことしか考えていない企業は
繁栄できない。繁栄している企業は、
自社の利益を追求するだけでなく、
社会的貢献も視野に入れている。
これを怠ると、利益も上がらないし、
存続することもできない。」

(クーリッジ元大領領)



The

ガリラヤ湖
Sea of Galilee





死海

The Dead Sea



「わたしはあなたを大いなる国民にし、
あなたを**祝福**し、あなたの名を高める。
祝福の源となるように。
あなたを祝福する者をわたしは祝福
し、あなたを呪う者をわたしは呪う。
地上の氏族はすべて、あなたによって
祝福に入る。」（創世記12:2~3）

**私たちは祝福するために
祝福されている！**

「あなたがたも知っているように、異邦人の間では支配者たちが民を支配し、偉い人たちが権力を振るっている。

しかし、あなたがたの間では、そうであってはならない。あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、皆の僕になりなさい。

人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。」

(マタイ20:25～28)

「あなたがたも知っているように、異邦人の間では支配者たちが民を支配し、偉い人たちが権力を振るっている。

しかし、あなたがたの間では、そうであってはならない。あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、皆の僕になりなさい。

人の子が、**仕えられるため**ではなく**仕えるために**、また、多くの人の身代金として**自分の命を献げるために来た**のと同じように。」

(マタイ20:25～28)

「親切で、慈しみ深くありなさい。あなたに出会った人がだれでも、前よりももっと気持ちよく、明るくなって帰るようになさい。神さまのご親切の生きたしるしとなりなさい。親切があなたの表情に、まなざしに、ほほえみに、温かく声をかけることばに表われるように。」

(マザー・テレサ)

「目の前の人に
何ができるだろう？」

「どうすれば、
目の前の人喜んで
くれるだろう？」

「つまり、こういうことです。惜しんでわずかし
しか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、
惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かな
のです。・・・種を蒔く人に種を与え、パンを糧
としてお与えになる方は、あなたがたに種を
与えて、それを増やし、あなたがたの慈しみが
結ぶ実を成長させてくださいます。」

(2コリント9:6、10)